

F-26 親子関係 女子青年の人格形成に及ぼす影響について
岸広太郎 高 山田 昌子

目的 女子青年のパーソナリティ形成に、情緒性が重要な役割をもっているのではないかと考え、女子青年と母親との情緒的関係が女子青年のパーソナリティ形成にどのような影響を及ぼしているか。将来、母親になる女子青年についてそれを見出すためにつぎの実験を行なった。

方法 シャーマン説と仮説として、女子高校生を対象に作文、面接などによりつぎの点をしるべる。○生徒のみた母親。○生徒が母親から受けた影響。○母親の好きな点、きらいな点。○きらいな点を多く備えた母親への感情。○母親のいない生徒の心理的障害。○義母のいる生徒の感情。○生徒が現在にいたるまでの他者(母親以外も含む)よりの刺激。○将来の情緒的経験に対する生徒の考え方。以上の点から母子間のか、わり合いの中で、情緒的経験のしめる重要性について検討する。

結果 生徒の母親との情緒的つながりは、パーソナリティ形成に極めて重要な役割をもつことが明らかにされた。パーソナリティの基礎となる「情緒の安定」は、母親との情緒的経験をもつことによって生じてくることがわかった。また母親のいないことは、生徒に心理的障害をあたえて望ましいパーソナリティの発達をゆがめることになる。この障害とりのそくためには周囲の人々の大きな愛情が必要であり、この愛情に充たされた情緒的経験により、血のつながりがなくても好ましい結果を見ることが出来る。血のつながりは万能ではないことがわかった。